

Neues in Nara

Nr.61

2017年10月27日



Japanisch-Deutsche Gesellschaft Nara (JDG-Nara)

奈良日独協会 (会長 河野良文) 奈良市大安寺 2-18-1 大安寺内

Tel/0742-61-6312, Fax/0742-61-0473

<http://www.daijanji.or.jp/jdgn/index.html>

編集委員：林 (hayashiy@zeus.eonet.ne.jp)、峯本 (hmine-24@m3.kcn.ne.jp)

編集委員より：会員の皆様からの積極的なご投稿をお待ちしています！

●行事予定

クリスマス会

日時：12月9日(土)17時～19時30分

場所：ホテル花小路1階

レストラン「櫃屋」(ひつや)

参加費：5,000円(学生2,000円)

ご家族、お友達をお誘いの上、多数のご参加をお待ちします(詳細、同封の案内チラシ参照)。

第17回シュタムテイッシュ

11月12日(日)、大安寺催事棟にて16時から会員の Wolfgang Hoehn さんから「シーボルトの子孫を訪ねて」と題して話題を提供頂きます。参加申込・問い合わせは林宛 (090-8168-4549、又は上記のメール)。事前連絡無くても当日お時間空きましたら、どうぞお出で下さい。

●行事報告

ビアアーベント



当会恒例のビアアーベントは、7月29日夕刻17時30分から大安寺にて開催され、留学生2名を含む90人近くの参加者を得て、賑やかな交流の場となった。桑田佳奈さんのバイオリン特別演奏で、格調高く盛り上がり、飛び入り続出するなか、フィナーレを迎えローソクセレモニーで再会を誓った。

独日文化交流育英会研修生との交流

8月30日、マイト・ピア智子さん(ケルン独日協会会長令嬢)の引率で、同会研修生一行6名が来訪、大安寺「ひびきホール」にて会員10名参加し、交流会を行った。参加された会員からは「知的好奇心旺盛なドイツ学生諸君との会話は大変楽しく、非常にポジティブな刺激を受けました」との感想を頂きました。



●会員だより

会員の中山伸さん

「私とヴェルツブルク(Würzburg)」

2015年5月、定年を機に私は妻と一緒に約20年ぶりにヴェルツブルクを訪れました。ロマンチック街道の起点ヴェルツブルクでは、毎年5月下旬から約1ヵ月にわたって、モーツァルトフェスト(Mozartfest)と称する音楽祭が開かれます。会場は世界遺産レジデンツ(Residenz)の皇帝の間(Kaisersaal)などを主として、街中のいたるところで開かれます。人気のあるチケットは抽選となります。幸運にも3公演のチケットを手に入れることができ、レジデンツでのコンサートを楽しむことができました。

私は1994年4月から1年間、ヴェルツブルク大学のシェラー教授(Prof.Dr.Klaus Scheller)のもとで客員研究員として過ごしました。ハエを実験材料にして、遺伝子を研究しました。滞在期間中多くの得難い体験をし、多数のドイツ人の友を得ました。もう一つの目的はその時の知人に会うことです。シェラー教授は自宅に日の丸を掲げて歓迎してくれました。バンベルクを始めフランケン地方を案内してくれ、20年前に行った懐かしいレストランやビール醸造所などを訪れました。私たちは勧められるまま彼の自宅に1週間滞在しました。

20年前下宿したヴァルト博士(Dr.Hermann Walz)との再会も懐かしいものでした。彼とは一緒にテニスをし、音楽会に行き、クリスマスやカーニバルなどの祝日に自宅に招待してくれるなど、友人付き合いをした仲です。奥さんにも大変お世話になりましたが、残念なことに数年前病気で亡くなっており、会うことはかないませんでした。小さな名札が付いているこの樹木が彼女のお墓です。樹木葬が増えているそうです。

ヴェルツブルクは私の第二の故郷です。私は今もドイツ語に親しむためにドイツリートを聴き、歌っています。また、フランケンワインを飲んでドイツの友とその風土を懐かしんでいます。



シェラー教授夫妻と



同教授邸の「日の丸」



ヴァルト博士と

●新入会員

工樂猛志さん(奈良市)、辻本倫美さん(香芝市)、中西ひとみさん(生駒市)の3名の方が入会されました。

第16回シュタムテイッシュ

9月3日(日)大安寺催事棟にて15時から開催、会員の中山伸さんから「カイコとシルクのおはなし」と題して話題を提供頂きました。

お話は、「カイコの一生」から始まって私たちに身近な繊維である「シルク」の構造・特徴からその製法に至るまで分かりやすく展開された。会場には、色々な繭糸や製品など多くの見本を用意頂き、専門的な解説も理解しやすく、遺伝子交換カイコや人工血管などの新しい分野も紹介され、シルクへの思いを新たにされた有意義な一日でした。



図書館「マルティン・ルターの宗教改革ポスター展」に会員武舎一夫さんのマイセン・カップが展示される

6月初めから7月末まで、大阪・神戸ドイツ総領事館主催、同情報館と当協会の共催で開催されたポスター展で、会員の武舎一夫さんのマイセン・カップが展示され多くの来場者の注目を集めた。



●若手会員(JGN)からの活動報告

法隆寺国際高校でのオリエンテーション

6月17日(土)にJGNメンバー3名(芹沢、森田、米田)は奈良県立法隆寺国際高校を訪問しました。

7月より3週間ドイツに短期留学する高校生15名(訪問先はハンブルク、リンテルン、ベルリン)にドイツ留学に際してのアドバイス(40分)と簡単なドイツ語レッスン(50分)を行いました。

生徒の皆さん、そして引率される先生方も私達の話をとっても熱心に聞いてくださり、また、ドイツでの生活で不安に思っていることやドイツ語の発音などについて様々な質問がありましたので、私達も自分達の経験を元に出来る限りお話をさせて頂きました。

3週間のドイツでの経験が高校生の皆さんにとってかけがえないものになるよう願っております。そして、今後も奈良日独協会と法隆寺国際高校が様々な形で交流が続いていけばいいなと思っております。

最後になりましたが、お忙しい中オリエンテーションにご参加下さりました加藤理事に改めて御礼申し上げます。ありがとうございました。



奈良オクトーバーフェスト

6月20日(火)17時より奈良公園登大路園地内で開催されておりました「奈良オクトーバーフェスト 2017」にてJGNメンバーの懇親会を行いました。当日はJGNメンバー4名と加納顧問、林理事、加藤理事、一般会員の土井ギーゼラさんご夫妻もご参加下さり、とても賑やかな会になりました。今後JGNでどのような活動をしていこうか、どうすればもっとJGNを知ってもらえるかについて皆で意見を交わしあい、今後のJGNの活動に参考になるアイデアをたくさん頂くことができました。また来年もオクトーバーフェストの季節にJGNの集まりを開催することを皆で約束して、懇親会は終了しました。

